

令和3年度事業計画

公益財団法人 滋賀県水産振興協会

1 基本方針

ホンモロコの漁獲量に回復の兆しがみられるものの本格的な回復に至らず、また、アユについては令和2年秋にアユ人工河川の稼働と一定量の天然産卵があったことにより、回復の傾向にはあるが、令和3年度も引き続きアユ資源の動向には注視する必要がある。

琵琶湖を水産資源の宝庫として再生し、琵琶湖漁業の振興を図っていくためには、漁業基盤である重要水産資源を増殖することが重要である。

令和3年度においても、種苗生産放流による資源の維持、増殖事業を実施し、生態系回復のため産卵繁殖場の保護などを行い、「つくり育てる漁業」を推進する。

2 事業計画

(1) ニゴロブナ増殖事業

本県漁業の重要魚種であるニゴロブナの資源増殖のため、琵琶湖栽培漁業センターの飼育池、湖上筏網イケス施設を利用し、種苗の生産放流を行う。

琵琶湖周辺の水田に発眼卵やふ化仔魚を5月中旬から6月上旬に放養し、約1ヵ月後の中干し時に全長20～30ミリサイズに成長した稚魚800万尾を琵琶湖に流下させる。

また、赤野井湾の生産機能の回復試験のため、赤野井湾周辺の水田にふ化仔魚200万尾を放養し、約1ヵ月後の中干し時に稚魚を赤野井湾に流下させる。

さらに、体重約20グラムの大型稚魚90万尾を10月から12月に琵琶湖に放流する。併せて、放流効果を把握するため、標識魚の追跡調査を実施する。

(2) ホンモロコ増殖事業

赤野井湾の生産機能の回復試験のため、5月にふ化仔魚200万尾を赤野井湾周辺の水田に放養する。さらに、南湖周辺の水田に前述と同様にふ化仔魚400万尾を放養し、琵琶湖に流下させる。

(3) 人工河川管理運用事業

アユ資源の安定維持、培養を図るため、8月下旬から9月上旬にかけて養成親魚8トンを安曇川人工河川に、また、9月上旬から10月下旬に特別採捕により捕獲した天然親魚4トンを姉川人工河川や近隣の常水河川に放流して効果的に産卵させ、ふ化仔魚を琵琶湖に流下させる。

(4) 湖づくり活動支援事業

異常繁茂する水草を抑制し、多様な琵琶湖の生態系を保全するため、ワタカの稚魚1万5千尾を琵琶湖栽培漁業センターで生産し、冬期に琵琶湖に放流する。

また、多種多様なプランクトンによる安定した魚介類の餌環境、生息環境を確保することを目的に、植物プランクトン食であり、特定の植物プランクトンの優占を抑制する効果がある琵琶湖固有種のゲンゴロウブナ資源の回復を図るため、5月下旬から6月上旬に琵琶湖周辺の水田にふ化仔魚250万尾を放養し、約1ヵ月後の中干し時に全長20～30ミリサイズに成長した稚魚を琵琶湖に流下させる。

(5) 産卵繁殖場保全事業

県が琵琶湖内に設置した増殖場施設（22ヵ所）と南湖の砂地造成漁場（1ヵ所）の定期的な点検管理や雑木

の伐採等による機能維持および湖上事故防止に努める。また、湖辺の産卵繁殖場において産卵状況の把握調査を行う。

(6) 水産加工業振興対策事業

水産加工業者の経営の安定化と水産加工業の発展に資するため、滋賀県水産加工業協同組合に資金の貸付けを行う。

(7) 情報提供事業

ホームページや「協会ニュース」の発行により、県民や漁業者に事業活動や経営内容についての情報提供を行う。

収 支 予 算 書

自 令和 3 年 4 月 1 日

至 令和 4 年 3 月 31 日

(単位 千円)

科 目	本 年 度	前 年 度	比 較	備 考
I 一般正味財産増減の部				
1 経常増減の部				
(1) 経常収益				
基本財産運用益	48	48	—	
特定資産運用益	5,287	7,651	△ 2,364	
受取補助金等	74,377	74,436	△ 59	
受取負担金	3,000	3,000	—	
寄付金収益	1,000	1,200	△ 200	
受取寄付金	30,109	28,820	1,289	
雑収益	4,191	4,741	△ 550	
経常収益計	118,012	119,896	△ 1,884	
(2) 経常費用				
事業費	125,105	126,094	△ 989	
管理費	4,441	4,463	△ 22	
経常費用計	129,546	130,557	△ 1,011	
(うち人件費)	52,979	52,908	71	
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 11,534	△ 10,661	△ 873	
評価損益等計	—	—	—	
当期経常増減額	△ 11,534	△ 10,661	△ 873	
当期一般正味財産増減額	△ 11,534	△ 10,661	△ 873	
一般正味財産期首残高	110,306	121,269	△ 10,963	
一般正味財産期末残高	98,772	110,608	△ 11,836	
II 指定正味財産増減の部				
一般正味財産への振替額	△ 30,109	△ 28,820	△ 1,289	
当期指定正味財産増減額	△ 30,109	△ 28,820	△ 1,289	
指定正味財産期首残高	1,045,276	1,065,776	△ 20,500	
指定正味財産期末残高	1,015,167	1,036,956	△ 21,789	
III 正味財産期末残高	1,113,939	1,147,564	△ 33,625	

収 支 予 算 書 内 訳 表

自 令 和 3 年 4 月 1 日

至 令 和 4 年 3 月 31 日

(単位 千円)

科 目	公益目的 事業会計	収益事業 等 会 計	法人会計	内 部 取 引 消 去	合 計
I 一般正味財産増減の部					
1 経常増減の部					
(1) 経常収益					
基本財産運用益	24	-	24	-	48
特定資産運用益	870	-	4,417	-	5,287
受取補助金等	74,377	-	-	-	74,377
受取負担金	3,000	-	-	-	3,000
寄付金収益	1,000	-	-	-	1,000
受取寄付金	30,109	-	-	-	30,109
雑収益	4,191	-	-	-	4,191
経常収益計	113,571	-	4,441	-	118,012
(2) 経常費用					
事業費	125,105	-	-	-	125,105
管理費	-	-	4,441	-	4,441
経常費用計	125,105	-	4,441	-	129,546
(うち人件費)	49,967	-	3,012	-	52,979
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 11,534	-	-	-	△ 11,534
評価損益等計	-	-	-	-	-
当期経常増減額	△ 11,534	-	-	-	△ 11,534
当期一般正味財産増減額	△ 11,534	-	-	-	△ 11,534
一般正味財産期首残高	110,306	-	-	-	110,306
一般正味財産期末残高	98,772	-	-	-	98,772
II 指定正味財産増減の部					
一般正味財産への振替額	△ 30,109	-	-	-	△ 30,109
当期指定正味財産増減額	△ 30,109	-	-	-	△ 30,109
指定正味財産期首残高	1,045,276	-	-	-	1,045,276
指定正味財産期末残高	1,015,167	-	-	-	1,015,167
III 正味財産期末残高	1,113,939	-	-	-	1,113,939

資金調達および設備投資の見込みについて

自 令和 3 年 4 月 1 日

至 令和 4 年 3 月 31 日

1 資金調達の見込みについて

なし

2 設備投資の見込みについて

(単位 千円)

設備投資の内容	支出または 収入の予定額	資金調達方法 または取得資金の使途
ディーゼル発電機	770	自己資金および県補助金より支出

令和 2 年度 事業報告

公益財団法人 滋賀県水産振興協会

1 事業概要

琵琶湖漁業の振興を図るため、漁業基盤であるニゴロブナ、ホンモロコ、アユといった重要水産資源について琵琶湖栽培漁業センター、琵琶湖周辺の水田および人工河川を活用して種苗生産、中間育成、放流を実施し、水産資源の増殖と漁業経営の安定に努めた。

2 事業実績

(1) ニゴロブナ増殖事業

ニゴロブナ漁獲量の減少に対処し、栽培漁業による資源回復を図るため、琵琶湖周辺の水田に発眼卵やふ化仔魚を放養し、約 1 ヶ月後の中干し時に平均全長 25.1 ミリサイズに成長した稚魚 1,139 万尾を琵琶湖に流下させた。また、増殖効果の高い大型稚魚 92 万尾を琵琶湖に放流した。

さらに、赤野井湾の在来魚復活事業のため、赤野井湾周辺の水田にふ化仔魚 202 万尾を放養し、約 1 ヶ月後の中干し時に稚魚 63 万尾を赤野井湾に流下させた。

併せて、放流効果を把握するため標識魚の追跡調査を実施した結果、漁獲された魚に占める放流魚の割合（混獲率）は、春季南湖では 69%、冬季北湖では 30% であった。

(2) ホンモロコ増殖事業

ホンモロコ資源を回復させるため、琵琶湖周辺の水田に発眼卵やふ化仔魚を放養し、約 1 ヶ月後の中干し時に平均全長 21.2 ミリサイズに成長した稚魚 970 万尾を琵琶湖に流下させた。また、赤野井湾の在来魚復活事業のため、赤野井湾周辺の水田にふ化仔魚 204 万尾を放養し、約 1 ヶ月後の中干し時に稚魚 52 万尾を赤野井湾に流下させた。

(3) 人工河川管理運用事業

アユ資源の安定維持、培養を図るため、8 月下旬から 9 月上旬にかけて養成親魚 8 トンを安曇川人工河川に、9 月中旬から 10 月下旬にかけて天然親魚 4.6 トンを姉川人工河川、近隣の常水河川に放流し、ふ化仔魚 25 億 1 千万尾を琵琶湖に流下させ、アユ資源の増殖に努めた。

(4) 湖づくり活動支援事業

多様な琵琶湖の生態系を保全するため、固有在来魚類で草食性の強いワタカの稚魚を生産し、4 万尾を南湖に放流した。併せて、放流効果を把握するため標識魚の追跡調査を実施した結果、混獲率は 84% であった。

また、ゲンゴロウブナ資源を回復させるため、琵琶湖北湖および内湖流入水田にふ化仔魚 271 万尾を放流した。

(5) 産卵繁殖場保全事業

県が琵琶湖内に設置した増殖場施設（22 ヶ所）と南湖の砂地造成漁場（1 ヶ所）の定期的な点検管理を実施した。また、湖辺の産卵繁殖場において産卵状況の把握調査を行った。

(6) 水産加工業振興対策事業

水産加工業者の経営の安定化と水産加工業の発展に資するため、滋賀県水産加工業協同組合に資金の貸付けを行った。

(7) 情報提供事業

ホームページや「協会ニュース」の発行により、県民や漁業者への事業活動や経営内容についての情報提供に努めた。

正味財産増減計算書

自 令和 2 年 4 月 1 日
至 令和 3 年 3 月 31 日

(単位 円)

科 目	本 年 度	前 年 度	比 較
I 一般正味財産増減の部			
1 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	48,400	48,400	—
特定資産運用益	8,050,997	8,065,642	△ 14,645
受取補助金等	74,475,000	69,966,240	4,508,760
受取負担金	3,000,000	3,000,000	—
寄付金収益	1,000,000	1,200,000	△ 200,000
受取寄付金	22,555,000	20,500,000	2,055,000
雑収益	5,422,388	5,730,186	△ 307,798
経常収益計	114,551,785	108,510,468	6,041,317
(2) 経常費用			
事業費	123,073,140	115,751,722	7,321,418
管理費	3,789,939	3,699,816	90,123
経常費用計	126,863,079	119,451,538	7,411,541
(うち人件費)	51,189,850	45,874,184	5,315,666
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 12,311,294	△ 10,941,070	△ 1,370,224
評価損益等計	—	—	—
当期経常増減額	△ 12,311,294	△ 10,941,070	△ 1,370,224
2 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	—	—	—
(2) 経常外費用			
固定資産除却損	1	22,604	△ 22,603
経常外費用計	1	22,604	△ 22,603
当期経常外増減額	△ 1	△ 22,604	22,603
当期一般正味財産増減額	△ 12,311,295	△ 10,963,674	△ 1,347,621
一般正味財産期首残高	110,305,813	121,269,487	△ 10,963,674
一般正味財産期末残高	97,994,518	110,305,813	△ 12,311,295
II 指定正味財産増減の部			
一般正味財産への振替額	△ 22,555,000	△ 20,500,000	△ 2,055,000
当期指定正味財産増減額	△ 22,555,000	△ 20,500,000	△ 2,055,000
指定正味財産期首残高	1,045,275,879	1,065,775,879	△ 20,500,000
指定正味財産期末残高	1,022,720,879	1,045,275,879	△ 22,555,000
III 正味財産期末残高	1,120,715,397	1,155,581,692	△ 34,866,295

正味財産増減計算書内訳表

自 令和 2 年 4 月 1 日

至 令和 3 年 3 月 31 日

(単位 円)

科 目	公益目的 事業会計	収益事業 等 会 計	法人会計	内 部 取 引 消 去	合 計
I 一般正味財産増減の部					
1 経常増減の部					
(1) 経常収益					
基本財産運用益	24,200	—	24,200	—	48,400
特定資産運用益	4,285,258	—	3,765,739	—	8,050,997
受取補助金等	74,475,000	—	—	—	74,475,000
受取負担金	3,000,000	—	—	—	3,000,000
寄付金収益	1,000,000	—	—	—	1,000,000
受取寄付金	22,555,000	—	—	—	22,555,000
雑収益	5,422,388	—	—	—	5,422,388
経常収益計	110,761,846	—	3,789,939	—	114,551,785
(2) 経常費用					
事業費用	123,073,140	—	—	—	123,073,140
管理費用	—	—	3,789,939	—	3,789,939
経常費用計	123,073,140	—	3,789,939	—	126,863,079
(うち人件費)	48,358,105	—	2,831,745	—	51,189,850
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 12,311,294	—	—	—	△ 12,311,294
評価損益等計	—	—	—	—	—
当期経常増減額	△ 12,311,294	—	—	—	△ 12,311,294
2 経常外増減の部					
(1) 経常外収益					
経常外収益計	—	—	—	—	—
(2) 経常外費用					
固定資産除却損	1	—	—	—	1
経常外費用計	1	—	—	—	1
当期経常外増減額	△ 1	—	—	—	△ 1
当期一般正味財産増減額	△ 12,311,295	—	—	—	△ 12,311,295
一般正味財産期首残高	110,305,813	—	—	—	110,305,813
一般正味財産期末残高	97,994,518	—	—	—	97,994,518
II 指定正味財産増減の部					
一般正味財産への振替額	△ 22,555,000	—	—	—	△ 22,555,000
当期指定正味財産増減額	△ 22,555,000	—	—	—	△ 22,555,000
指定正味財産期首残高	1,045,275,879	—	—	—	1,045,275,879
指定正味財産期末残高	1,022,720,879	—	—	—	1,022,720,879
III 正味財産期末残高	1,120,715,397	—	—	—	1,120,715,397

貸 借 対 照 表

令和 3 年 3 月 31 日現在

(単位 円)

科 目	本 年 度	前 年 度	比 較
I 資 産 の 部			
1 流 動 資 産			
現 金 預 金	1,725,659	3,884,975	△ 2,159,316
未 収 金	2,730,380	2,410,980	319,400
流 動 資 産 合 計	4,456,039	6,295,955	△ 1,839,916
2 固 定 資 産			
(1) 基 本 財 産			
投 資 有 価 証 券	11,000,000	11,000,000	—
基 本 財 産 合 計	11,000,000	11,000,000	—
(2) 特 定 資 産			
温 水 魚 資 源 対 策 積 立 資 産	801,720,879	824,275,879	△ 22,555,000
水 産 加 工 業 振 興 対 策 積 立 資 産	200,000,000	200,000,000	—
鮎 資 源 対 策 積 立 資 産	10,000,000	10,000,000	—
退 職 給 付 引 当 資 産	21,955,890	20,630,320	1,325,570
特 定 資 産 合 計	1,033,676,769	1,054,906,199	△ 21,229,430
(3) そ の 他 固 定 資 産			
建 物	243,986,375	243,986,375	—
構 築 物	321,936,405	321,936,405	—
車 両 運 搬 具	2,919,624	2,919,624	—
什 器 備 品	104,303,243	102,916,418	1,386,825
船 舶	7,700,000	7,700,000	—
減 価 償 却 累 計 額	△ 584,224,791	△ 572,175,921	△ 12,048,870
電 話 加 入 権	257,227	257,227	—
そ の 他 固 定 資 産 合 計	96,878,083	107,540,128	△ 10,662,045
固 定 資 産 合 計	1,141,554,852	1,173,446,327	△ 31,891,475
資 産 合 計	1,146,010,891	1,179,742,282	△ 33,731,391
II 負 債 の 部			
1 流 動 負 債			
未 払 金	2,995,762	3,234,702	△ 238,940
預 り 金	343,842	295,568	48,274
流 動 負 債 合 計	3,339,604	3,530,270	△ 190,666
2 固 定 負 債			
退 職 給 付 引 当 金	21,955,890	20,630,320	1,325,570
固 定 負 債 合 計	21,955,890	20,630,320	1,325,570
負 債 合 計	25,295,494	24,160,590	1,134,904
III 正 味 財 産 の 部			
1 指 定 正 味 財 産			
出 捐 金	1,011,720,879	1,034,275,879	△ 22,555,000
寄 付 金	11,000,000	11,000,000	—
指 定 正 味 財 産 合 計	1,022,720,879	1,045,275,879	△ 22,555,000
(うち基本財産への充当額)	(11,000,000)	(11,000,000)	(—)
(うち特定資産への充当額)	(1,011,720,879)	(1,034,275,879)	(△ 22,555,000)
2 一 般 正 味 財 産	97,994,518	110,305,813	△ 12,311,295
正 味 財 産 合 計	1,120,715,397	1,155,581,692	△ 34,866,295
負 債 及 び 正 味 財 産 合 計	1,146,010,891	1,179,742,282	△ 33,731,391